

災害時における

発達

障害児

への支援

～共生を考える～

3月10日(日) 13:30～16:00

会場:星槎大学 横浜事務局 205教室

ご自宅から
視聴できます
(ZOOM使用)

13:30-14:50

第1部

「東日本大震災から共生を考える

～発達障害児の避難生活に視点を当てて～」

千田光久

(星槎大学 教授 発達支援臨床センター委員)

14:50～15:30

第2部

「被災地発！発達障害児への支援

～地域支援の立場から～」

佐藤牧子

(宮城県立気仙沼支援学校)

15:30～16:00

第3部

「発達障害児への防災教育と災害時支援」

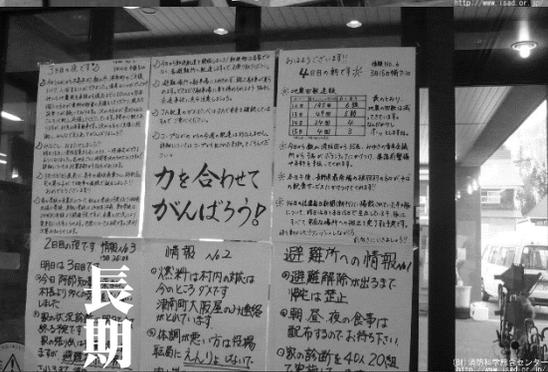
ディスカッション 千田光久／佐藤牧子ほか



合理的配慮



情報共有



長期避難生活

福祉避難所



要支援者名簿



星槎大学 共生科学部

SEISA

教育実践研究科 教育学研究科

TEL 0120-82-2686 神奈川県横浜市青葉区さつきが丘8-80

星槎と3.11東日本大震災

未曾有の被害となった東日本大震災、その避難時や避難生活から私たちは何を学ばいいのでしょうか？

震災前、震災時、震災後、そこから見えてきた防災教育、地域連携、震災対応の在り方とは？災害時における発達障害児への支援はどうあるべきかを考えることは、共生の視点からあらためて考えていきます。

本企画第1部、第2部では東日本大震災での体験から学び、第3部では今できる備えについて考えていきます。障害のありなしに関わらず人が寄り合い共に時間を過ごす時、共生の考えが役に立ちます。

星槎グループの支援活動

- ・スクールカウンセラー派遣(継続中)
 - 福島県内小中学校へスクールカウンセラー派遣
- ・北の大地に会いに行こう(継続中)
 - 福島県内の小学生を北海道自然体験へ招待
- ・相双トレセン サッカー交流(継続中)
 - 相馬双葉地区のサッカーチームを保護者・指導者共に招待、湘南地域のチームとこゆるぎカップ開催
- ・放射線教育のサポート(継続中)
 - 授業や教員免許更新講習での当該テーマ開講

(その他実施実績)

- ・星槎寮(相馬市内さくらビル) ボランティア等宿泊対応
- ・チャリティコンサート
- ・チャリティ展覧会
- ・「ミネルヴァのふくろうと明日の日本 作品展」
- ・放射線量計設置事業 など

自宅から受講:

お手持ちのPCまたはスマートフォン・タブレットにZOOMというビデオ通話アプリ(無料)をダウンロードすることで、講演をご覧頂けます。録画ではなく、同日同時刻に中継を視聴し参加して頂きます。

ご希望の方は、必ずお申込み時にメールアドレスをお知らせください。そのメールアドレスへ、本企画参加用URLを事務局よりお送りします。



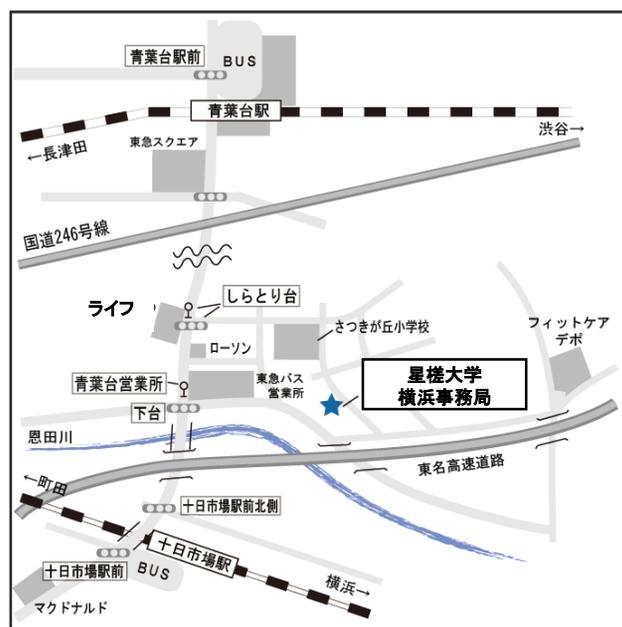
星槎大学・星槎大学大学院では、いつでもどこでも誰でも学べる環境を実現するため、授業の遠隔参加を適宜進めています。同時双方向のテレビ会議を実現する「ZOOM」というアプリを一部授業において導入しており、本学には日本各地だけでなく、世界中から学生が入学しています。いつでもどこでも仲間と学ぶ環境をぜひ体験してください。

来校して受講:

星槎大学横浜事務局 205教室が会場です。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

 星槎大学 横浜事務局
〒227-8522 横浜市青葉区さつきが丘8-80

JR横浜線「十日市場」駅より徒歩15分／
東急田園都市線「青葉台」駅より徒歩20分
バス11分(青葉台駅7番のりばより、青90
中山駅北口ゆきに乗車「しらとり台」
または「青葉台営業所」下車 徒歩3分



<お申込み・お問合せ>

メールアドレス info@seisa.ac.jp お電話 0120-82-2686